

運輸・自動車部門 1						
削減手段	ハイブリッド自動車への買い換え					
内容・算出根拠	<p>自家用自動車（ベースを小型車とする）をハイブリッド自動車等のクリーンエネルギー自動車に買い換える。</p> <p>初期ベースとしてハイブリッド車を想定する。新型トヨタプリウスの 10・15 モード燃費 30.0km/ℓ（同社カタログより、ちなみにシビックハイブリッドは 31.0km/ℓ）、小型車の 10・15 モード燃費を 14km/ℓとし、いずれも実効燃費を 70%とする。ただし、今後 10 年ごとにそれぞれの燃費（CO₂ 排出量）が 10%ずつ向上するものとする。</p> <p>年間走行距離を 5,160km とする（自動車工業会「乗用車市場動向調査」H16） ガソリンの CO₂ 排出係数：2.32 kg-CO₂/ℓ</p>					
削減量単位	2010 年まで：0.65 t-CO ₂ /台・年、～2020 年：0.59 t-CO ₂ /台・年、～2030 年：0.54 t-CO ₂ /台・年					
導入コスト	従来車両との差額：400,000～450,000 円（プリウス、シビックハイブリッドの場合） 購入補助金 180,000～190,000 円（同、平成 17 年度）					
費用削減額	ガソリン代削減額：33,700 円/年（ガソリン小売価格：120 円/ℓ）					
CO ₂ 削減コスト	7 年以上使用する場合導入コストは相殺される。					
対象	全乗用車（ただし軽自動車を除く）					
目標	2010	対象車両の 5%	2020	対象車両の 40%	2030	対象車両の 80%
車両数		710 台		5,179 台		8,427 台
CO ₂ 削減量		463 t-CO ₂		3,067 t-CO ₂		5,490 t-CO ₂

運輸・自動車部門 2						
削減手段	軽自動車への買い換え					
内容・算出根拠	<p>自家用自動車（ベースを小型車とする）を軽自動車に買い換える。</p> <p>軽自動車のトップクラスの 10・15 モード燃費 24.0km/ℓ（メーカーカタログ）、小型車の 10・15 モード燃費を 14km/ℓとし、実効燃費を 70%とする。ただし、今後 10 年ごとにそれぞれの燃費（CO₂ 排出量）が 10%ずつ向上するものとする。</p> <p>年間走行距離を 5,160km とする（自動車工業会「乗用車市場動向調査」H16） ガソリンの CO₂ 排出係数：2.32kg-CO₂/ℓ</p>					
削減量単位	2010 年まで：0.38 t-CO ₂ /台・年、～2020 年：0.35 t-CO ₂ /台・年、～2030 年：0.31 t-CO ₂ /台・年					
導入コスト	車両の更新であればなし（更新費用はマイナス）					
費用削減額	ガソリン代削減額：26,300 円/年（ガソリン小売価格：120 円/ℓ）					
CO ₂ 削減コスト	削減コストはマイナスである。					
対象	全乗用車（既存の軽自動車を除く）					
目標	2010	対象車両の 15%	2020	対象車両の 20%	2030	対象車両の 30%
車両数		2,504 台		2,838 台		3,406 台
CO ₂ 削減量		1,020 t-CO ₂		1,156 t-CO ₂		1,387 t-CO ₂